

ガイナール鳥取J2昇格に伴う経済波及効果の試算

研究員 吉 弘 憲 介

1. 事業経緯

鳥取市より、2010年にJFLからJ2への昇格を決めたガイナール鳥取の昇格に伴う経済波及効果算出の依頼を受けたとっとり総研では、産業連関表を用いて、先に昇格を決めたフジアーノ岡山における来場者数の増加などを参考にこれを試算した。

2. 試算の前提

- 平成12年産業連関表（鳥取市試算）の34部門表（開放系）を用いて試算した。
- 観客のうち、ホーム応援者数を初年度4,600人とし、その後年5%程度の増加と見込んだ。市内、市外の割合は7：3とした。
- 観客のうち、アウェイチームからの観客を400人と仮定。宿泊と日帰りの割合は5：5とした。アウェイチームからの観客数はフジアーノ岡山の実績値を参考とした。
- 各人数に対する単価は基本的に平成21年度鳥取県観光客入込実態調査の数値を用いた。場内買物費は実績値（1人600円）を参考とした。
- 運営費、アウェイチーム消費額などは5年間不変と仮定した。

3. 試算結果

- J2昇格後、単年度で6億5千500万円の経済波及効果があると見込んだ。
- 昇格前（2010年）と比較して、およそ1.8倍の経済効果の増と見込んだ。
- 昇格後と昇格前では、アウェイ、ホーム両方で応援者数の増加（ホーム3,000人→4,600人、アウェイ100人→400人）により関係経済効果が膨らむものと想定した。
- 2011年から2015年までの総額での経済波及効果はおよそ34億1,500万円であると推計した。

（単位：千円）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
直接効果	222,909	410,020	418,400	427,198	436,436	446,136
一次効果	66,693	122,950	125,401	127,975	130,678	133,516
二次効果	66,009	121,956	124,512	127,196	130,015	132,974
経済波及効果合計	355,613	654,926	668,313	682,369	697,129	712,626